

事業終了後の映写機材の活用について

プロジェクター

巡回型で映画を上映の際に、映像を多くの被災者に視聴してもらうためにプロジェクターが必要である。また、インドネシア国内より日本で購入した方が、性能が良いものを確実に入手できるという理由で日本国内での購入とする。事業終了後は日本に持ち帰り、日本国内で行う報告会や講演会や、今後の幣団体の海外支援活動と、ひろしま平和貢献構想下で実施されているカンボジア復興支援活動に有効に活用する。

デジタルビデオカメラ

今回の事業の様子をビデオカメラで記録することには、2つの理由がある。ひとつは、スマトラ島の被災者に日本からの応援のメッセージを伝えるためであり、もうひとつは、被災地・被災者・救援者の復興活動の様子を広島県民に見てもらうことによって、市民社会の熟成あるいは地球市民としての意識を高めるためである。そのためビデオカメラは、事業終了後に持ち帰り、日本国内の事務局で管理し、必要な際に海外に持ち出すこととする。

DVDプレーヤー

映画上映をする際に、映画ソフトを映像化するのに必要な映写機器である。DVDプレーヤーは、①インドネシア国内で購入するので、電圧 100 ボルトの日本では使用が不可能であること、②輸送の際に外部からのショックで使用不可になる可能性があること、という理由で、事業終了後は現地でDVDプレーヤーを有効に使うと幣団体が認めた団体・組織に譲渡する。

音響設備

プロジェクターやDVDプレーヤーから信号を音声化するのに必要な機器である。購入金額より輸送費がかかる可能性が高いので、事業終了後は、DVDプレーヤーと同様に現地で有効に使うと幣団体が認めた団体・組織に譲渡する。

スクリーン

映画の上映場所は、小学校の教室や集会所を予定しているが、白い壁がなかったり、広い壁そのものがない場合を想定して、映画のスクリーン用の白布を購入する。事業終了後は、現地で白布を有効に活用してくれる団体・人物に譲渡する。

発電機

電力が活動対象地域まで届いていない場所で映画上映をする際に、発電機を必要とする。輸送コストが高いという理由で、事業終了後は、DVDプレーヤー、音響設備と同様に現地で有効に使うと幣団体が認めた団体・組織に譲渡する。

映画ソフト

平和貢献 NGOs ひろしまは、今後も海外での復興支援活動において積極的に平和文化活動を行う予定であり、特に映画上映は多くの可能性を秘めた分野であると位置づけているので、インドネシアや日本で購入した映画ソフトは、事業終了後も日本に持ち帰り、これからの活動に活かしていきたい。